

北秋田・協会 受験生にバター餅贈る

高校入試「点のび〜る」



北秋田市内の受験生に贈られたバター餅

北秋田市のバター餅製造業者らでつくる日本バター餅協会(湊屋啓二会長)は高校入試で点数が餅のように伸びるようにとの願いを込め、市内の中学校3年生と義務教育学校9年生にバター餅を贈った。

バター餅は、協会が鷹巣神社で合格祈願した。桜の花びらの模様と「点のび〜る 祈 合格」というメッセージの入った特別包装で、1人に2個贈った。

3日には、湊屋会長とバター餅のイメージキャラクター「バタもっち」が合川中学校を訪問。湊屋会長が生徒代表にバター

餅を手渡し、「体調管理を十分にしてお頑張って」とエールを送った。

その後、新田龍信さんが「ぐ〜んと点数を伸ばせるように粘り強く勉強に励んでいく」と決意表明。全員で「いただきます」と手を合わせ、談笑しながら地域に受け継がれてきた郷土の味を楽しんだ。

地域の受験生を応援するとともに、バター餅をPRしようと毎年行っている。今年は2日に義務教育学校阿仁学園、3日に鷹巣中と合川中、9日には森吉中に贈った。

(原田大生)

(2月10日(火) 秋田さきがけ新聞から一部抜粋)